|  |  |
| --- | --- |
| 財団処理欄 |  |

課題提案型研究助成申請書

令和4年（2022）年　　月　　日

公益財団法人スズキ財団

理事長　鈴 木　修　殿

申請者

課題提案型研究助成を下記のとおり申請いたします。

記

１．課題に対する提案研究テーマ名及び概要（200字以下）

テーマ：

概要(200字以下)：

２．申請者（研究代表者）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | 生年月日 | 西暦 |
| 氏　名 |  | 　　　　　年　　月　　日生（　　　歳） |
| 現住所 | 〒　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ＴＥＬ： |
| 所属機関 | 名称 |  | 職位 |  |
| 所在 | 〒　　　　　　　　　　　　　　　　　　ＴＥＬ　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　携帯電話：Ｅ－ｍａｉｌ： |

３．申請金額

2022年度（一年度目の金額）　　　　　　　　総合計金額

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  | 0 | 0 | 0 | 円　　 |  |  |  |  |  | 0 | 0 | 0 | 円 |

４．研究形態（いずれかに○印）

|  |
| --- |
| 　１．共同研究（申請者の他　　　名）　　　２．個人研究 |

５．申請者の略歴（大学、研究機関に所属していない場合は研究歴を記入して下さい。）

|  |  |
| --- | --- |
| 最終学歴 |  |
| 履歴事項（最終学歴以降） |  |

６．共同研究者

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 生年月（西暦） | 所　　属 | 職　　名 | 最終学歴 |
|  |  |  |  |  |

７．研究体制（図示）

|  |
| --- |
|  |

８．申請者の主な業績と発表論文

　（発表論文については、申請研究テーマに関係のあるもので最近５年間の主要なものを総計で５件以内〔共同研究の場合は、共同研究者のものも含め〕とし、業績との関連も簡潔に記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

９．研究の目的

（この研究に至った経緯、位置づけ、内外の他の研究との対比を含めて記入してください）

|  |
| --- |
|  |

１０．この研究の特色

（社会性・実現可能性と独創性・先進性に関する説明等）

|  |
| --- |
| ①　社会性②　実現可能性③　独創性・先進性 |

１１．研究計画の概要

（１）全体計画

|  |
| --- |
|  |

　（２）計画の目標（値）

|  |
| --- |
| ① 技術目標（値）目的を達成するための具体的な目標数値、および目標値に至る課題を簡潔に記載する。（ex.目標値：出力〇kW/cm2、耐久性〇時間、効率〇％を達成する。数字で示せない場合は具体的な目標値とする）課題(1)：○○を開発する課題(2)：開発した〇〇を使って、●●を求める課題(3)：●〇への適用を条件を定める（この枠は消してください）② 実用化目標（値） |

（３）初年度計画概要と実施計画（研究項目とその内容）

|  |
| --- |
| ・課題毎に、課題を解決するための具体的な取り組みとスケジュールを記載して下さい・何を目標に取り組むか明確にしてください・初年度終了時点に、目標（値）に対して結果はどのようであったかの達成度が客観的に分かるようにしてください（この枠は消してください） |

（４）２年度計画概要と実施計画（研究項目とその内容）

|  |
| --- |
|  |

注：このページに記入しきれない場合はページを追加し、記入してください。

１２．助成申請金額の費目別内訳 （金額単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費　　目 | 金　　額 | 内訳・算出根拠等 |
| （初年度） |  |  |
| 小　　　計 |  |  |
| （２年度目） |  |  |
| 小　　　計 |  |  |
| 合　　　計 |  |  |

注：航空運賃はエコノミーノーマル料金を上限とし、そのルートを明示して下さい。

　　研究のために必要な費用を申請してください。

・学術学会へ参加するための諸費用は、学術学会に参加して研究に必要な知見を得るためなど、
申請した研究に必要な費用であることを示し頂ければ申請できます。

・申請した研究が終了して、その研究成果を発表する費用は計上できません。